

令和元年度第6回教育研究評議会議事録

日 時 令和元年10月16日(水) 14:30～17:40 TV会議
場 所 事務局5階大会議室、S-P o r t 3階会議室
出席者 石井、丹沢、木村、東郷、池田、手島、寺村、小谷、河合、笹原、白井、
日詰、田島、江口尚、近藤、小西、田中、北村、川田、喜多、森田、鳥山、
江口昌、原、朴、澤田の各評議員
村山副学部長（熊倉委員の代理）
欠席者 三村評議員
陪席者 鈴木、村松の各監事、宮原の各学長補佐

I 前回議事録の承認について

令和元年度第5回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 新法人設立・大学再編について

議長から、新法人設立・大学再編について、資料1-1により、合意書締結後の会議等の開催状況、資料1-2により、第11回静岡大学・浜松医科大学連携協議会（令和元年9月18日）等の報告があった。

<議長の説明>

- ・ 法人運営検討専門委員会では、事務組織・任務の審議状況の報告があり、結論が出た段階で報告したい。
- ・ 浜松地区新大学の名称については、浜松地区の大学運営検討専門委員会から報告された3案を検討し、「浜松医科工科大学」と「浜松国立大学」に絞り、浜松地区の大学運営検討専門委員会で更に意見交換を行い、法人名称及び静岡地区大学名称も含め、11月開催の連携協議会での決定を目途とすることとした。なお、大学の日本語名称と英語名称を使い分ける折衷案も考えられること、また、浜松地区を「浜松国立大学」とした場合は静岡地区を「静岡国立大学」とすれば並びが良いという意見もあった。
- ・ 学生の署名について、静岡地区の学生中心の署名では、対話集会を開くことへの要望があり、浜松地区の学生からは「浜松医科工科大学」という名称について反対であるというものであったと連携協議会で説明した。
- ・ 静岡市議会や静岡市から、新法人設立・大学再編に関しての静岡大学の説明が不十分との意見を踏まえ、9月26日に静岡市長を訪問し、静岡大学将来構想協議会の設置のお願いをした。9月30日に開催された静岡市議会において、静岡市長から静岡大学将来構想協議会の立上げと協議会としてはゼロベースで議論するという事で静岡大学から申出があったとの紹介があり、新聞等の報道がされたところである。協議会の構成員等について検討中であり、決まったら報告したい。機関決定されたものを説明し、ご理解を得るというスタンスは変わらず、大学の意見とは違った意見もよく伺い協議したい。
- ・ 学生との対話集会を10月23日（水）14時から、共通教育棟A301にて開催する予定である。学務情報システム等で周知し、多くの学生に参加を呼びかけたい。

<委員から出された意見等>

- ・ 日詰委員から、名称についてはデリケートなこともあり、静岡地区で異論や反対の意見が多い中、そういう議論は受入れ難く、静岡地区の大学名称はどのように決まっていくのか質問があり、議長から早くて11月の連携協議会で決めるとの発言があった。また、日詰委員から大学名称について静岡地区の意見を述べる機会はあるのか質問があり、議長から、連携協議会で決める前に全学会議で意見を伺いたいとの発言があった。
- ・ 田島委員から、静岡大学将来構想協議会における「ゼロベースでの議論」は何を意味するのかとの質問があり、議長から、静岡大学としては、機関決定された新法人設立・大学再編を白紙に戻すものではなく、同案を説明するとともに静岡市議会や静岡市の意見を伺うということであるとの回答があった。
- ・ 田島委員から、令和元年7月12日通知の国立大学法人法の一部改正に、地元自治体等の関係者の理解を十分に得て進めるべきであることとの留意事項の記載があるが、ステークホルダーに対する説明の不十分さを認めるのかとの質問があり、議長から静岡市長や市議団が説明が不十分だと思っておられるのは事実であるので受け止めたい、また、どういう懸念を抱いているのかを具体的に伺うというスタンスで協議会に臨みたいとの発言があった。

2 静岡大学学術院規則及び静岡大学教授会通則の一部改正について

丹沢委員から、静岡大学学術院規則及び静岡大学教授会通則の一部改正について、資料2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

3 国立大学法人静岡大学株式等管理規則及び静岡大学における大学発ベンチャー企業支援を対象とした株式等取得に関する規則の制定について

木村委員から、国立大学法人静岡大学株式等管理規則及び静岡大学における大学発ベンチャー企業支援を対象とした株式等取得に関する規則の制定について、資料3により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

4 令和2年度非常勤講師所要時間数について

丹沢委員から、令和2年度非常勤講師所要時間数について、資料4により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

5 インドネシア大学との大学間交流協定の更新について

白井委員から、インドネシア大学との大学間交流協定の更新について、資料5（一部修正あり）により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

6 学生の懲戒処分について

寺村委員から、学生の懲戒処分について、別添資料により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

<委員から出された意見等>

- ・ 村松監事から、懲戒に伴う履修単位の扱いに関する学生への周知方法について質問があり、寺村委員から、周知の詳細については今後検討したいとの発言があった。

Ⅲ 報告事項

1 令和元年度第6回企画戦略会議（令和元年10月2日）報告

議長から、令和元年度第6回企画戦略会議(令和元年10月2日)について、資料6により報告があった。

2 教員採用報告について

議長から、教員の採用1件について、資料7により報告があった。

3 平成30年度監事業務監査改善要望事項に対する改善措置事項について

東郷委員から、平成30年度監事業務監査改善要望事項に対する改善措置の令和元年9月末現在の状況について、資料8により報告があった。

<委員から出された意見等>

- ・ 日詰委員から、ハラスメント申し立てについて部局長が対応することになっているが苦しいところがあり、深刻である。学長のリーダーシップにより、不安、行き詰まりなどのサポート体制を作っていただきたいとの要請があり、議長から、検討したいとの発言があった。
- ・ 田島委員から、調査委員会が設置された場合、委員が長期にわたり対応することになる。専門家による第三者委員会を設置し、調書の作成をお願いしたいとの発言があった。

4 令和2年度行事予定表について

丹沢委員から、令和2年度行事予定表について、資料9により説明があった。

5 「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施に向けた調書の作成等について

議長から、文部科学省より依頼のあった「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施に向けた調書の作成等について、資料10により説明及び協力依頼があった。

また、手島委員より、記載要領の説明があり、調書作成への協力依頼があった。

6 学校教育法施行規則及び大学院設置基準の一部を改正する省令の施行について

坂下学務部長から、学校教育法施行規則及び大学院設置基準の一部を改正する省令の施行について、資料11により改正の概要及び留意事項の説明があり、議長から部局に対し、対応への検討依頼があった。

7 THE世界大学ランキング2020について

東郷委員から、THE世界大学ランキング2020について、資料12により報告があった。

8 大学院入試における入試ミス等について

丹沢委員から、大学院入試における入試ミス等について、資料13（委員限

り)により経緯の報告があり、また、江口尚委員から再発防止策の説明があり、議長から、今後の入試業務について注意喚起があった。

9 学生への告知について

寺村委員から、10月10日に学生に対して告知(資料14)した、いわゆる「マルチまがい商法」については、全容解明中であるとの報告があった。

また、寺村委員から、他大学の事例も参考にしつつ、懲戒規程の改正を検討したいとの説明があった。

<委員から出された意見等>

- ・ 川田委員から、大学全体で取り組まなければならない事項であるため、可能な範囲で情報共有をお願いしたいとの発言があった。
- ・ 原委員から、留学生が被害にあう可能性もあるため、学生への告示文の英語版の作成をお願いしたいとの発言があった。
- ・ 村松監事から、近隣の大学間との情報共有について依頼があった。

10 台風19号に伴う安否の確認について

手島委員から、台風19号に伴う本学の被害状況及び安否情報システムの回答状況について、別添資料により報告があり、回答率が低いため、改めてシステムの周知徹底を行いたいとの発言があった。

<委員から出された意見等>

- ・ 日詰委員から、教職員数には退職者も含まれているため、データの更新について依頼があり、手島委員から、データについては、部局責任者が新規登録及び更新の管理を行うことになっており、安否情報システムを用いた安否確認に関する要項の徹底を図りたいとの発言があった。
- ・ 鳥山委員から、自宅からアクセスし回答したが未回答になっていたとの発言があり、手島委員から全学的にシステムの確認を行うとの発言があった。
- ・ 笹原委員から、川の氾濫等、学生の実家や家族が被災されている可能性があるため、情報収集と補償について質問があり、寺村委員から、支援すべきことをリストアップし、学生生活課と各部局の学務係等が連携し、対応したいとの発言があった。

IV その他

1 情報セキュリティ・個人情報保護に関する講演会の開催及びWEBセミナーの実施について

東郷委員から、11月19日に開催する情報セキュリティ・個人情報保護に関する講演会の開催及び12月頃から実施するWEBセミナーについて、資料15により案内があった。

2 国家公務員等のマイナンバーカードの一斉取得の推進について

手島委員から、国家公務員等のマイナンバーカードの一斉取得の推進について、資料16により取得勧奨及び取得・申請状況の調査への協力要請があった。

3 静岡大学グリーン科学技術研究所シンポジウムの開催について

朴委員から、11月12日に開催する静岡大学グリーン科学技術研究所シンポジウムの開催について、資料17により案内があった。

4 第21回高柳健次郎記念シンポジウムの開催について

原委員から、11月12日に開催する第21回高柳健次郎記念シンポジウムの開催について、資料18により案内があった。

5 第4回生体医歯工学共同研究拠点国際シンポジウムの開催について

原委員から、11月14日、15日に開催する第4回生体医歯工学共同研究拠点国際シンポジウムの開催について、資料19により案内があった。

6 第2回産業イノベーション人材育成プログラムシンポジウムについて

川田委員から、11月7日に開催する第2回産業イノベーション人材育成プログラムシンポジウムについて、席上配布資料により案内があった。

7 その他

笹原委員から、男女共同参画推進室管理職研修「多様なセクシュアリティを尊重する大学を目指して」について、11月6日（水）の企画戦略会議開催前に、S-Port 3階大会議室（中継：事務局別館1会議室）にて開催するため、評議員への積極的な参加について案内があった。

以上